



学びの ページ

解説金剛宝塔

二聖地巡拝鍊成の最後に訪れるのは、御寺泉涌寺の一角に併む「解脱金剛宝塔」です。

金剛さまの七回忌にあたる昭和二十九年に建立され、宝塔内陣（中央）には金剛さまの御靈骨が安置されています。また、外陣には、金剛さまの元で働きたいと願う会員師弟らのご精靈が祀られています。

なぜ、「このような「宝塔」が、御靈地ではなく泉涌寺にあるのでしょうか。

昭和二十三年頃、御身の死期を悟られた金剛さまは泉山（泉涌寺のこと）の一角に鎮まりました。「死した後も泉山を護持し奉らん」とのご意志を、泉涌寺の平野龍法寺務長（のちの長老猊下）に伝えられました。その当時、拝観することすら難しかった御皇室唯一の菩提寺である泉涌寺の境内に、民間人

である金剛さまが鎮まるなど、許されるはずもないことでした。しかし、金剛さまの思いを汲んでくださった当時の泉涌寺のご厚意により、異例となる約千坪にも及ぶ境内地の永代使用の許可を頂けたのです。

その背景には、金剛さまをはじめ、先人先覚者の会員たちが時代の波に左右されることなく、泉山護持の誠心を体現し続けてきたからに他なりません。

さて、三聖地の参拝を終えた後、解脱金剛宝塔にお参りさせていただくのは、無事に巡拝鍊成を完遂させていただいたご報告と御礼を金剛さまへ申し上げるためです。

かつて、ご在世中の三聖地巡拝でも、金剛さまは巡拝へ向かう会員たちを真心で送り出し、行程期間中は羽織袴の正装のまま、常にお心を寄せられ、巡拝

団が無事に帰つてくることを心待ちにされていたといいます。

それは、御遷化された現在も変わりません。金剛さまは宝塔で、私たちが無事に巡拝鍊成を完遂した報告にやって来ることを、今か今かと待ちわびてくださいます。だから行程の最後に宝塔に参拝させていただくのです。

そして、今も日本の繁栄と御靈室の栄光、世界平和のために、靈界でご活動されている金剛さまに対して、巡拝鍊成の各聖地でお誓いしたことを実践し、世のため人のためにお使いいただけるように、精いっぱいの努力精進をお誓いさせていただきましょう。

◎世のため人のためにお使いいただく人間になるためにできることを皆で考えてみよう。